

江別市生涯活躍のまち整備事業  
これまでの経過と公募の概要について

## 1 これまでの経過

平成23年度に閉校となる北海道札幌盲学校の跡地への道立高等養護学校の誘致を目的として、「江別市への道立高等養護学校誘致期成会」が設立され、さらには、平成27年3月には、北海道議会において「江別市への高等養護学校設置について」の請願が採択され、これまで全市挙げて誘致活動を展開してきたところである。しかし、札幌市立の高等支援学校が新たに設置されたことなどにより、道教委による特別支援学校配置計画において、当市への配置が明記されるには至っていない。

このような中で、平成29年3月には江別版「生涯活躍のまち」(CCRC)構想を策定し、高等養護学校と連携したCCRCを整備し、「共生のまち」の実現を目指すこととした。

このような動きを受け、本年1月、道教委より旧北海道札幌盲学校敷地の一部について、利用意向確認の照会があった。市としては、高等養護学校誘致を後押しするため、生涯活躍のまち整備事業を先行して実施することを決定し、今回下記のとおり、整備事業者を公募するものである。なお、道教委には、整備事業者を選定した上で結論を出す旨、3月下旬に回答したところである。

## 2 事業者公募の概要(予定)

- (1) 対象用地 大麻元町154番1 旧北海道札幌盲学校の敷地の一部  
約31,000㎡(別紙図面のとおり)
- (2) 売却額 市による対象用地の仮鑑定により算出した額を売却価格見込み(概算)額として公募要項に提示し、その後、北海道が鑑定を行い、評価額を決定し、その額で市が取得する。選定事業者への売却額は、市が取得する額と同額を基本とする。
- (3) 公募期間 5月11日(金)～7月31日(火)
- (4) 事業者選定方針
  - ①応募対象 単独法人または複数法人グループ  
ただし、江別市高齢者総合計画に基づく介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設を整備・運営する予定の法人等を含むこと。
  - ②選定方法 公募型プロポーザル方式により、学識経験者等及び市職員により組織する生涯活躍のまち整備事業者選定委員会により提案内容を審査し、事業者を市に報告する。
  - ③必要とする機能
    - (ア) 地域交流拠点

- (イ) 高齢者及び障がい者の住まい
- (ウ) タウン型のまちづくりを踏まえた社会参加や多様な交流を促す仕組み  
※地域住民や高齢者、障がい者の交流の場としてのパークゴルフ場や交流農園の設置は必須
- (エ) 移住や住み替えをサポートするコーディネーターの配置
- (オ) 医療・介護の確保  
※高齢者総合計画に定める介護保険施設等（介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）80床、介護老人保健施設80床、（看護）小規模多機能型居宅介護25名以上）は必須
- (カ) 障がい者の訓練、就労の場や相談支援
- (キ) 健康づくり、生きがい創出、生活支援等につながる機能や“江別ならではの”の機能

#### ④評価項目

- (ア) 整備・運営のコンセプト及び体制等について
- (イ) 事業用地を構成するために整備・運営する施設等について
- (ウ) 医療・介護の確保について
- (エ) 障がい者の訓練、就労の場や相談支援について
- (オ) その他（提案内容を着実に実施する経営体制）について

### 3 スケジュール（予定）

|           |   |
|-----------|---|
| 4月25日（水）  | 第1回生涯活躍のまち整備事業者選定委員会                              |
| 5月9日（水）   | 江別市への道立高等養護学校誘致期成会総会                              |
| 5月11日（金）  | } 公募期間  |
| ～7月31日（火） |   |
| 8月        | } 第2回生涯活躍のまち整備事業者選定委員会<br>（応募事業者プレゼン、審査）<br>事業者決定 |

（平成31年）

|       |           |
|-------|-----------|
| 3月～6月 | 市議会での議決   |
| 7月    | 事業用地の整備開始 |

（平成32年度） 建築工事

（平成33年度） 入居開始

